市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月12日（金） 15時30分～17時00分
場 所：コミュニティセンター緑野会館集会室
テ ー マ：新総合計画及び市政全般
参加人数：30人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 地域で一番困っているのはリサイクルステーションの維持管理で、昨年度、自治連を通じて市長宛に提出したりリサイクルステーションに関する要望は、ほぼゼロ回答であった。
- ・ その他プラ（その他プラスチック製容器包装）をリサイクルステーションに集めて回収するのは問題が多いと考えている。
- ・ 集積すると汚れたまま出す人がいて、カラスに荒らされる被害も頻発しているので、その他プラは戸別回収にしてもらいたい。

【市長】

- ・ 資源リサイクルステーションについて、タウンミーティング、市長への手紙など、様々な形で多くのご意見をいただいております、自治会の皆さんがお困りの状況は重々承知している。
- ・ ごみを分別して資源化していくことは、さらに推進していく考えであるが、資源リサイクルステーションについては、このまま自治会の協力を仰ぎ続けるのは限界であり、戸別回収に向けて動き出しているところである。
- ・ 資源リサイクルを戸別回収する場合の予算や具体的な方法など、様々な観点から検討を続けており、自治会や地域の方々のご意見を伺いながら、まずはモデル地区を設けて試行的に実施して、将来的に戸別回収を実現できるようにしていきたい。

【意見】

- ・ 先ほどお話に出た、自治連を通じた要望書の回答に「その他プラの戸別回収は、各戸前でカラスによる被害が見込まれる」とあったが、可燃ごみの戸別回収の開始当初は多かったカラス被害も、最近は皆さん対処しているので殆どなく、その他プラを戸別回収して大きな問題はない。
- ・ 中央林間5丁目で老人会のイベントを行う際、免許の返納をした、足腰が弱くなった、という理由でタクシーを使わないと行けない、家族の送迎が必要という方が増えている。
- ・ 高齢化の進展が著しいので、今後、全市的に同じような状況になってくると思われる。
- ・ 外出機会を減らさないため、タクシー料金の補助をして欲しい。
- ・ 中央林間駅から西側のエリアはやまとんGOが運行されているが、満員で乗

れないことがある。

- ・ 常時満員というわけではなく、空いている時間もあるので、乗車状況を調査していただき、混む時間帯の運行を増やして欲しい。

【市長】

- ・ 高齢の方が孤独、孤立にならないためには、外出機会の創出は重要であり、コミュニティバスの運行はなくてはならないものと考えている。
- ・ コミュニティバスの維持費は年間で約5億円、運賃収入が約1億円なので、約4億円のマイナスである。
- ・ のろっと20年、やまとんGO10年という節目を迎えて、現在、コミュニティバスの見直しを行っているところである。
- ・ ご指摘のような状況は改善しなければならないので、しっかりと調査をしていく。
- ・ 障がいのある方に向けた福祉タクシー利用券はあるが、高齢の方に向けたものはない。
- ・ 財政的な問題もあり、すぐに対応することはできないが、ご意見については、関係する所管課と情報共有し、対応の可否について検討していきたい。
- ・ 現在、国がライドシェアに関する検討を進めている状況もあり、地域交通の充実につながる可能性があるため、先進自治体の成功事例などの情報収集や研究に努めていく。
- ・ 財政を健全財政にするため、今まさに事務事業の精査を行っているところで、費用対効果が低いものをやめ、必要なところに予算を付けられるようにしていきたいと考えている。

【意見】

- ・ 中央林間に越してきて50年、当時のこの辺りは、大和市歌1番の歌詞「風光る さわやかな 緑の大地」のとおり、緑の多い自然が豊かな場所であった。
- ・ その後、宅地開発が進み、狸や蛇などの野生動物も生息していた豊かな緑は殆ど無くなってしまった。
- ・ 人口が増えることはよいことではあるが、少なくなっている緑を保全していくべきではないか。
- ・ 当時の面影を残すのは、多胡記念公園、宇都宮記念公園、相模カンツリー、緑野小学校周辺に点在する民有地のみである。
- ・ 緑を有する民有地を売却する場合、市が買い上げるなどして保全して欲しい。

【市長】

- ・ 緑と人の共生はとても大切であり、出来ることなら緑を残し、増やしていきたいのだが、財政の面から考えると、緑はお金を生み出さず、支出だけが増えていくため、健全財政を目指す上で大きな課題になっている。
- ・ 大和駅と鶴間駅の間にある中央森林地区は、戦後植樹された杉が殆どの森林で、人の手も入っていないため不法投棄の温床となっている。
- ・ 緑と人が共生していくには、自然に手を入れていく必要があるが、その維持

管理には莫大な人件費が必要となる。

- ・福祉や教育などに大きな支出が必要な状況において、緑を維持管理する予算を潤沢に確保することができず、剪定や草刈りの頻度が低くなった結果、道路や公共施設の雑草が生い茂ってしまう部分もある。
- ・財源確保が大きな課題となっていることから、今はすべて焼却している剪定枝を木質チップに加工して、バイオマス発電の燃料や堆肥として売る又は無料で配付することにより、自主財源の確保、焼却炉の維持管理費の削減につなげることができないか検討している。
- ・大変厳しい財政状況ではあるが、残された緑の保全について、出来る限り対応していきたい。

【意見】

- ・ポラリスの正面玄関の近くにある踏切（中央林間1号踏切）について、停止線が遮断機ギリギリの位置にあり、電車の通過待ちで車が停車すると、線路沿いの道（中央林間121号）を直進する車の通行を邪魔してしまう。
- ・可能であれば、停止線を車1台分後ろに下げて欲しい。

【市長】

- ・警察との協議が必要になる場合もあるため、ご意見を関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・自治会員が減少している要因として、リサイクルステーションの維持管理の負担がある。
- ・自治会員の高齢化が進み、リサイクルステーションに立てないから、自治会を辞める方も増えている。
- ・宅地開発が進み住民が増えているが、自治会の加入についてお願いをしても若い世代は殆ど入会してくれない。
- ・市としても自治会員の減少について、真剣に考えていただき、何か対策をお願いしたい。
- ・スタンドパイプについて、自治会館や公園に設置されているが、消火栓のふたを開けるのは困難であり、災害時に扱える人は殆どいないと思われる。
- ・スタンドパイプは税金の無駄なので、何とかよい方策を検討いただきたい。

【市長】

- ・自治会は宝であり、加入率の減少について喫緊の課題と捉えている。
- ・災害時に秩序が保たれ、略奪や暴動が起こらず、人と人が協力し合って困難を乗り越えられているのは、自治会を中心とした地域コミュニティによるところが大きい。
- ・自治会加入率を向上させるため、自治会活動の負担軽減について、全国の先進的事例を勉強しているところである。
- ・YouTubeやTikTokでは自治会のデメリットばかりを発信して

いるので、市が自治会加入のメリットを強く発信していく。

- ・自治会の素晴らしいところを映像化することで、自治会のマイナスイメージを払拭していきたい。
- ・タウンミーティングでは各地から同じように、自治会加入率の低下に関するご意見をいただいております、加入率向上に力を入れていかなければならないと考えている。
- ・自治会の役員や消防団など、地域活動を一生懸命やっている人にはインセンティブを与えられないか、そのようなことも含めて市としてできる限りのことをしていきたい。
- ・スタンドパイプについては、設置に約4億円かかっており、ホース等の更新をするためにはかなりの予算が必要となるため、スタンドパイプの在り方について検討し適宜見直しをしていく。
- ・大和市は災害に強いまちではあるが、それに驕らず災害対策に力を入れており、能登半島地震で課題となった生活用水の確保に対応するための災害井戸設置にも力を入れている。

【意見】

- ・スタンドパイプについて、自治会の防災訓練で年に2回ほど操作訓練をしているが、容易に扱えるものではないと感じている。
- ・住宅密集地では、災害による停電復旧後の通電火災が心配されるので、感震ブレーカーの設置の補助を拡大して欲しい。
- ・民生委員をやっているのですが、小学校と意見交換をすることも多いが、痛切に感じるのは先生の不足である。
- ・子どもたちの安全確保、現場の先生不足を補うために、防犯カメラの設置や校門の施錠なども実施して欲しい。

【市長】

- ・スタンドパイプの在り方について検討し適宜見直しをしていくとともに、火災を未然に防ぐための方策、感震ブレーカー補助拡大などについて検討していきたい。
- ・住宅密集地という点では、幅員の狭い道路の交差点で隅切りが無いために消防車や救急車が入りにくい場所もあるので、防災や減災という視点も道路整備計画に落とし込んでいきたい。
- ・学校の先生が不足していることは、現場を訪問して見聞きしており、県に教員の増員を要望している。
- ・先生に関しても、YouTubeやTikTokで変な動きがあり、教職員の不平不満、デメリットが喧伝されていて、先生を目指す若者を減らす要因の一つとなっているので、人を育てることの尊さ、素晴らしさをもっと発信していかなければならない。
- ・タウンミーティングでは、様々な形で先生の不足についてご意見として伺っている。

- ・子どもに関わること、学校関係の支援員、放課後児童クラブの支援員や補助員については、有資格者など要件が多くハードルが高いので、地域の方に協力していただける体制、市独自の講習、学校長の面接で採用できるようにする大和スタイルを見出していけるよう検討をしていく。

【意見】

- ・大和市の人口が増えているのはよいことであるが、人口増が北部に集中している一方で南部は高齢化しており格差が広がっている。
- ・北部はマンション建設も盛んで、ここの近く（中央林間1丁目20）にも130戸のマンション建設される予定である。
- ・既に工事が始まっており、工事関係車両の出入りにより周辺道路の舗装にダメージが生じている。
- ・陥没は部分補修されているが凸凹の箇所も多く、雨の日には大きな水溜まりができるようになっている。
- ・市長に現場を一度見てもらい、工事業者を指導するなど対応して欲しい。
- ・ポラリス西側に隣接するスポーツ広場について、雨の日には敷地の半分以上が水溜まりになっているので、水捌けをよくするなど対応していただきたい。

【市長】

- ・大和市の北部と南部の人口の差は、学校の児童生徒数によく表れており、その差を無くしていかなければならないと考えている。
- ・中央林間は東急田園都市線の発着駅のため、東京や横浜から転入してくる方も多い。
- ・南側に住みたいと思えるような仕掛け、例えば、鹿島建設跡地に南部地域の核となるようなものが出来ないか検討しているところである。
- ・マンション建設工事周辺の道路、スポーツ広場について、今日は雨も降っているので帰りに現場を確認し、関係する所管課に情報提供して、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・校外委員で登下校の見守り活動を行っている中で、外国籍家庭とコミュニケーションが上手く取れないことが多く、校外委員担当の先生に相談することになるが、先生も忙しいため頻繁に相談することも出来ず困っている。
- ・先ほども意見が出ていたが、先生の不足解消や負担軽減をお願いする。
- ・PTA活動について、未だにアナログなやり方であるため、仕事をしている人は活動に参加が難しい。
- ・相模原のある高校で、PTA活動に地域（Community）を加えるPTCA活動を行っており、保護者と学校だけでなく、地域全体で子どもを見守り育てていくことについて、市としても啓蒙していただきたい。

【市長】

- ・先生の業務量が膨大で、先生を目指す人が減少する中、先生不足が続いてお

り、定年退職後の先生に協力していただいている。

- ・先生の業務量については、保護者対応も大きな要素となっている。
- ・子どもたちが幸せに育てて欲しいと考えており、レジリエンス教育、失敗を恐れずにやってみる、トライ&エラーを繰り返していくことにより、自分で困難を乗り越えていく力を養って欲しい。
- ・保護者、学校、地域で子どもを育てていくことは重要であり、ご意見について、関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・高齢化が進む中で加齢性難聴の方は増えており、聞こえが悪くなると社会参加がしにくくなるのが問題になっている。
- ・令和3年に大和市議会が「加齢性難聴者による補聴器の購入等に国の支援を求める意見書」を提出している。
- ・健康寿命を延ばすためにも、加齢性難聴に関する補聴器購入費の補助をお願いしたい。

【市長】

- ・加齢性難聴の方が使う補聴器補助については、市議時代にも賛成しておりぜひ実現していきたいと考えている。
- ・来年度以降に実現できるよう、近隣市の状況を調査し補助制度策定に向けた検討を続けている。

【意見】

- ・先ほど教職員が不足しているという話があったが、同じように保育士も不足している状況である。
- ・中央林間地域は保育所の数が多いが保育士は不足しており、0歳児を受け入れているところは少なく、受けられない保育所も多い。
- ・子どもを産んですぐに働きたい人は多いが、受け入れ先がない状況で、預け入れできても、上の子と下の子が別の保育所など、希望通りになることは少ないので、保育士不足の解消に向けて対応をお願いしたい。

【市長】

- ・待機児童ゼロは数字上の話なので、私はそこに拘らず現実に目を向け保育士不足の解消に取り組んでいる。
- ・上の子と下の子が同じ保育所に入れるようになることも含めて、やはり保育士の確保が重要となるため、潜在保育士の掘り起こしなど、様々な角度から対策を検討していく。

【意見】

- ・少子高齢化により生産年齢人口が減少すると市職員の人材確保も困難になってくると考える。
- ・職員が確保できないと、市の各事業が維持できなくなり、市民生活の質が落

ちていくのではないか。

- ・生産年齢人口が減ってくると人材の奪い合いになるが、働き手は待遇のよい職場を選ぶものである。
- ・国家公務員の給与水準と比べた時、県内33市町村の給与水準は低く、その中でも大和市の給与は低い。
- ・このままの水準だと、今の行政サービスを維持することは出来ない。
- ・今日もたくさんの意見が出ているが、何も受け止められない状況になる。
- ・現状の受け止め方、今後の方策について伺いたい。

【市長】

- ・国家公務員と地方公務員の給料を比較するときを使うラスパイレス指数は神奈川県内でも大和市は低く、職員定数も非常に少ない。
- ・このことは人件費の抑制につながり、財源を市の各事業に充てることが出来ているという側面もあるが、市民サービスの幅を広げ過ぎた部分もある。
- ・財政が厳しい中であって、財源を確保するために各事業を見直す必要があり、今まさに事務事業の精査を進めているところである。
- ・併せて、下水処理、こみ焼却など大和市が単独で行っている事業を広域連携することにより予算を圧縮もしていく考えである。
- ・北部の大規模マンションには東京から多くの転入があり市民税も増えていることから、大和市が選ばれるまち、住みたいまちにしていきたい。
- ・中央林間は発着駅で東京都民や横浜市民にも名前の印象は強くあるので、中央林間を市のPRの軸にすることも考えている。
- ・交通利便性の高さ、地盤が強いことによる災害につよいまち、市立病院の周産期医療、小児科の素晴らしさ、こういった強みを魅力として、企業誘致、人口の増加につなげていきたい。

【意見】

- ・中央林間地域は住宅密集地で火災が非常に心配であるが、ポラリス西側に隣接するスポーツ広場は災害時の要になると考えている。
- ・スポーツ広場の存続と、有事の場合を想定したトイレの設置を要望する。

【市長】

- ・中央林間のスポーツ広場は一時避難場所に指定されており、スポーツだけでなく地域のイベントにも活用されているので残していく。
- ・宇都宮記念公園、多胡記念公園も残していく考えである。
- ・スポーツ広場に屋外トイレを設置することについては、ご意見を関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・様々な意見が出ているが、何をやるにしても財源が必要である。
- ・金融機関に聞いた話では、融資の数が減っているとのことである。
- ・財源確保に向けて、企業誘致、起業支援、操業継続支援、事業承継などの産

業振興に融資を絡めて、法人市民税収を上げて行って欲しい。

- ・産官学連携も含めて前向きに検討して欲しい。

【市長】

- ・財源の確保は喫緊の課題である。
- ・財源確保に向けた動きの中で、国民健康保険税の改正を決断した。
- ・大和市が大幅に増額することになったのは、12年間、税率等の改定を見送ってきたことが理由である。
- ・平成30年に国から県に所管が移り、令和8年までに赤字を是正するよう言われており、赤字分は市民の皆さんの税金で補填している。
- ・国民健康保険の被保険者数は全市民に対し2割に満たない中で、一般会計から赤字補填を行うことは、税の公平性の観点からも課題があったことから、国や県等の公費収入で賄えない額をご負担いただいた。
- ・健全財政にするため、事務事業全体の見直しを図っており、企業誘致など産業の振興による税収増も含めて財源確保に努めていく。

【市長指示】

- ・マンション建設工事（中央林間1丁目20）の周辺道路について、現場を確認し、関係する所管課に情報提供し、対応の可否を検討すること。
⇒タウンミーティング終了後、マーケティング課が現場確認。道路管理課に情報提供。工事業者による補修対応済み。